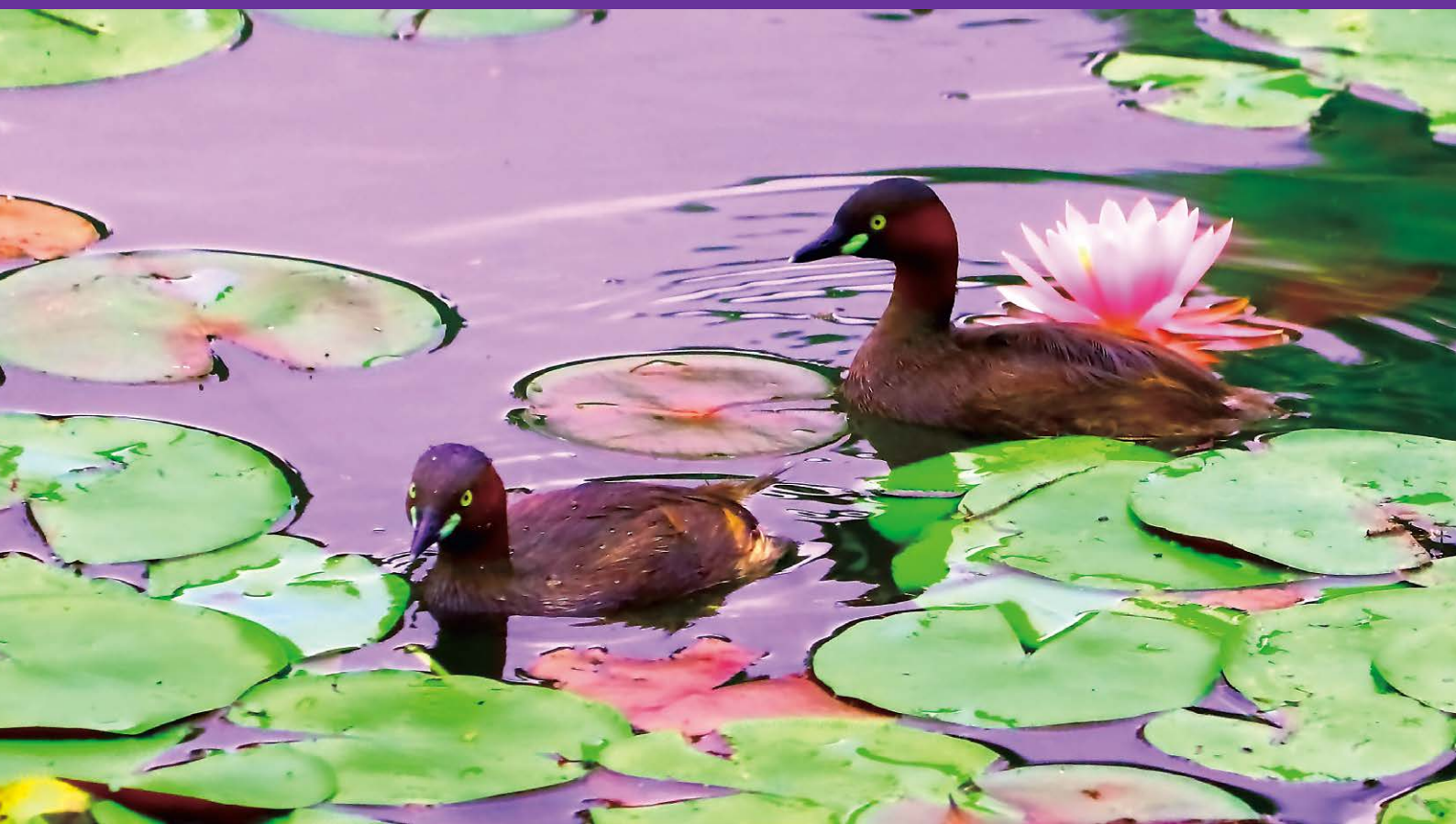


ちた市議会

だより

Vol.201
2026 年
8 月号



「カイツブリ仲良く散歩」(ベティさんの家旭公園勢鎌池^{せがまいけ}) 撮影：坂井由紀美さん

今号の
トピックス

- ・ 11人の議員が一般質問を実施・・・5～8ページ
- ・ 常任委員会が先進地を視察・・・9～10ページ
- ・ チャレンジ！間違い探し・・・10ページ

市議会公式SNS



Instagram



Facebook

第3回市議会定例会を6月15日から29日までの15日間を会期として開きました。

知多市消防団員等公務災害補償条例の一部改正についてをはじめ5議案を可決、諮問1件を適任と認め、報告4件を受理、1件を承認、同意案12件に同意し、議員派遣を議決して閉会しました。

議案審議結果

会 派 名	創 政 会								市民クラブ				議 員 団	公 明 党	た い わ み ら い	新 緑 知 多	共 産 党	松 風 会	
氏 名	早 川 徳 彦	高 橋 至	竹 内 祥 浩	高 橋 直 之	安 島 崇 展	伊 藤 正 明	石 濱 隼 人	渡 邊 眞 弓	中 山 貴 弘	藤 沢 巖	林 正 則	藤 井 貴 範	小 浦 智 夫	泉 清 秀	深 谷 珠 江	川 脇 裕 之	久 野 た き	富 田 一 太 郎	本 会 議 議 決 結 果
議案24 知多市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	全 員 賛 成																		可 決
議案25 財産の取得について																			可 決
議案26 橋りょう新設改良工事請負契約について																			可 決
議案27 令和 8 年度知多市一般会計補正予算（第 1 号）																			可 決
議案28 令和 8 年度知多市一般会計補正予算（第 2 号）																			可 決
諮問 1 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて																			適 任
報告 4 令和 7 年度知多市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について																			受 理
報告 5 令和 7 年度知多市水道事業会計予算繰越計算書の報告について																			受 理
報告 6 令和 7 年度知多市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について																			受 理
報告 7 市長専決処分事項の承認を求めることについて （専決 3 号 知多市税条例及び知多市都市計画税条例の一部を改正する条例）	全 員 賛 成																		承 認
（専決 4 号 知多市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）																			承 認
報告 8 市長専決処分事項の報告について （専決 5 号 損害賠償の額の決定及び和解について）																			受 理
同意 3 農業委員会委員の任命について																			全 員 賛 成
同意 4 農業委員会委員の任命について	同 意																		
同意 5 農業委員会委員の任命について	同 意																		
同意 6 農業委員会委員の任命について	同 意																		
同意 7 農業委員会委員の任命について	同 意																		
同意 8 農業委員会委員の任命について	同 意																		
同意 9 農業委員会委員の任命について	同 意																		
同意 10 農業委員会委員の任命について	同 意																		
同意 11 農業委員会委員の任命について	同 意																		
同意 12 農業委員会委員の任命について	同 意																		
同意 13 農業委員会委員の任命について	同 意																		
同意 14 農業委員会委員の任命について	同 意																		

会 派 名	創 政 会	市民クラブ	議員 公明 たい 新緑 共産 松風	風 会
氏 名	早川 高橋 竹内 高橋 安島 伊藤 石濱 渡邊 中山 藤沢 林 藤井 小浦 泉 深谷 川脇 久野 富田	徳彦 至 祥浩 直之 崇展 正明 隼人 眞弓 貴弘 巖 正則 貴範 智夫 清秀 珠江 裕之 たき 一太郎	議員 団 党 たい 新緑 共産 松風	風 会
件 名	全会議員賛成			
議員派遣について	全会議員賛成			
決議結果	可決			

※議案の概要は、知多市ホームページ内の市議会のページに掲載しています。
 ※渡邊眞弓議員は議長のため賛否を表していません。
 ※採決自体をしていない案件（報告など）については、賛否の欄に斜線を表示しています。
 ※会派名の共産党は日本共産党議員団の略

表 彰

全国市議会議長会表彰
東海市議会議長会表彰

▼一般表彰（議員10年以上）

川脇裕之 議員
林 正則 議員
藤井貴範 議員

陳 情 紹 介

▼最低賃金の全国一律化と大幅引き上げ、
中小企業支援の拡充と公正取引を求める
意見書の提出を求める陳情

▼公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用
を確保する公契約法の制定を求める意見
書の提出を求める陳情

▼住民の安全・安心を支える行政サービス
体制・機能の充実を求める意見書の提出
を求める陳情

▼地方財政の拡充を求める意見書の提出を
求める陳情

▼保育所職員の人材定着・確保のため保育
士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、
離職しない保育職場の実現を求める意見
書の提出を求める陳情

▼介護・障害福祉職場の一人夜勤をなくし、
複数配置を基準とすることを求める意見
書の提出を求める陳情

▼愛知県最低賃金の適切な引き上げに愛知
県が積極的な役割を発揮することを求め
る意見書の提出を求める陳情

▼教職員の長時間過密労働を解消するため
の実効ある施策をすすめ、年間を通じた
教員の未配置を直ちに解消するための施

策を求める意見書の提出を求める陳情

・提出者 春の自治体キャラバン実行委
員会 代表 西尾美沙子さん

▼公立中学校における平和教育及び校外学
習の政治的中立性と安全確保を求める陳
情

・提出者 学校教育の中立性と透明性を
守る愛知県民の会 提出者代表 前野
和男さん
共同提出者 前参議院議員 浜田 聡
さん

人 事 案 件

▼人権擁護委員

吉川秀美氏（日長字山之腰）

▼農業委員会委員

加古和平氏（八幡字堀之内）

加藤 誠氏（八幡字岩ノ脇）

加藤龍治氏（新知字杓子）

加藤郁由氏（佐布里字向畑）

竹澤周吉氏（岡田字東達脇）

永井右夫氏（岡田字平地）

細川直次氏（日長字神山畔）

青木 威氏（日長字神ノ木）

鈴木信孝氏（南粕谷本町4丁目）

石井由衛氏（大興寺字里）

石井信男氏（南粕谷新海2丁目）

横井和美氏（大草字東畑）

議 会 選 出 各 種 委 員

執行機関の委員

監査委員 林 正則

広域連合

知多北部広域連合議会

竹内祥浩 伊藤正明 藤井貴範

渡邊眞弓

一部事務組合

西知多医療厚生組合議会

高橋 至 竹内祥浩 高橋直之

小浦智夫 藤沢 巖 藤井貴範

渡邊眞弓

附属機関の委員

民生委員推薦会 藤井貴範

都市計画審議会

高橋 至 竹内祥浩 安島崇展

藤沢 巖

内部機関の委員

広報広聴委員会

高橋 至 竹内祥浩 小浦智夫

安島崇展 中山貴弘 伊藤正明

藤沢 巖 藤井貴範

本会議の会議録・
録画映像が
ご覧になれます



会議録



録画映像

総務委員会

委員長 伊藤正明 副委員長 高橋 至
委員 早川徳彦 藤沢 巖 久野たき 富田一太郎

議案第24号関係

**消防団員の葬祭補償額
国の基準に合わせ規定を改正**

問 補償基礎額の具体的な金額及び具体的なモデルケースについて伺いたい。

答 消防団員については階級及び勤務年数により9つの区分に分かれており、最低額は1万円、最高額は1万5000円です。

階級は団員、勤務年数は10年未満、扶養親族のないモデルケースでは、定額部分33万円に補償基礎額1万円に30を乗じた額を加算し、葬祭補償額は63万円となります。

議案第28号関係

**地区公共施設照明灯のLED化
財源を国からの交付金に更正**

問 市民協働推進費に関して、国庫支出金の財源更正の内容について伺いたい。

答 国の補正予算の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を、物価高騰の影響を受ける地区を支援するため当初予算措置した、地区公共施設照明灯LED化助成事業補助金の追加の財源とするものです。

所管事務調査

◆新庁舎建設工事の進捗状況について

福祉文教委員会

委員長 藤井貴範 副委員長 安島崇展
委員 深谷珠江 小浦智夫 林 正則 渡邊真弓

議案第25号関係

**調理機器を夏休みに入替え
2学期から使用予定**

問 スチームコンベクションオーブンの使用までのスケジュールについて伺いたい。

答 給食センターが1学期の給食調理を終えた7月中旬から、現在使用している調理機器を撤去し、その後、配管工事を行い、8月中旬頃に設置する予定です。

機器設置後、夏休み期間中に試運転を行い、2学期からスチームコンベクションオーブンを使用して調理を行います。

議案第27号関係

**生成AIパイロット校事業
一部の学校で実践研究を実施**

問 生成AIパイロット校事業委託金の内容について伺いたい。

答 学校現場における生成AIの活用の実践事例を創出し、その成果や課題を検証することなどを目的とした公募事業に採択されたもので、教職員が生成AIを校務で活用するB区分と、児童生徒のAIを含む情報活用能力の育成に向けた教材の実証を行うC区分の採択を受けたものです。

B区分は、八幡小学校、つつじが丘小学校及び八幡中学校を指定校とし、ほかの12小中学校を協力校に、C区分は、新田小学校及び東部中学校を指定校とし、岡田小学校を協力校に位置付け、実践研究を行います。

所管事務調査

◆旭南小学校における健康教育活動の取組について

建設経済委員会

委員長 竹内祥浩 副委員長 高橋直之
委員 中山貴弘 石濱隼人 川脇裕之 泉 清秀

議案第26号関係

**三ツ又橋は新設により
片側歩道のある2車線へ**

問 移設整備の詳細内容について伺いたい。

答 新設する三ツ又橋は、既設橋から上流側へ約50mの位置で整備しています。

既設橋は、歩道のない1車線で、寺本新町地内と獅子懸工区をつないでいます。一方、新設橋は、片側歩道のある2車線で、寺本新町地内と知多信濃川東部土地区画整理事業区域内をつなぎます。

なお、新設橋の供用開始後には、既設橋を撤去していきます。

議案第27号関係

**導入機械購入補助により
次世代を担う新規就農者を支援**

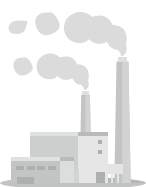
問 新規就農者確保緊急円滑化対策支援事業補助金の具体的な内容及び就農後のフォローについて伺いたい。

答 内容は、50歳未満の次世代を担う新規就農者一人が、露地栽培をするのに必要なトラクター1台と乗用管理機1台を購入するための経費を補助するものです。

フォローとしては、作付け状況、経営状況の確認を就農後5年間、県の担当課とともに行います。

所管事務調査

◆余剰消化ガスの売却及びメタネーション実証実験について



一般質問



創政会
竹内 祥浩



備蓄品の増強や官民連携などで
避難所生活の質の向上に努める

問 避難所の環境改善について伺いたい。
答 避難所で使用する物資は、備蓄倉庫や、避難所の防災倉庫、学校の空き教室などに備蓄しています。主な備蓄品としては、乾パン、アルファ化米、飲料水などの食糧や、簡易トイレ、段ボールベッド、毛布、間仕切り用テントやパーティション、発電機など、避難生活を支えるための物資を幅広くそろえています。避難所生活を送る上では、特にトイレ環境が重要であり、断水で水洗トイレが使用できない状況に備え、簡易トイレを使用する際に必要となる装着袋と凝固剤を避難者一人当たり一日5回、3日分となるよう計画的に増強していきます。

問 災害時の協定について伺いたい。
答 迅速な災害対応には、民間事業者などの協力が不可欠であると考えており、様々な分野において協定を締結し、平常時から連携を図っています。避難所に関連した協定としては、食糧や資器材の供給、ライフラインの応急復旧活動、自治体の相互応援などについて締結しています。

問 防災訓練の実施について伺いたい。
答 避難所の生活環境を良好にするためには、避難者の協力が重要であるため、令和6年度から総合防災訓練において、住民主体の避難所運営訓練を行っています。今後も、備蓄の増強や、官民連携、防災訓練の実施を通じて、避難所生活の質の向上に努めていきます。



公明党議員団
小浦 智夫



認知症の方が尊厳と希望を持ち
地域で暮らし続ける施策を推進

問 認知症に関する知識を深める取組について伺いたい。
答 本市では、認知症の方とその家族の応援者である認知症サポーターの養成講座を小中学校、事業所などを対象に継続して実施し、これまでに約8700人の方に受講していただきました。

この講座は、認知症の症状や接し方などの基礎的な知識に加え、認知症になっても住み慣れた地域で仲間とつながりながら希望を持って暮らし続けられるという、新しい認知症観に基づいた内容としています。

問 今後の取組について伺いたい。

答 新しい認知症観や当事者の声を十分に反映させた市町村計画を、第9次高齢者保健福祉計画と一体の計画として策定していきます。

今後も認知症の方が尊厳を保持しつつ、希望を持って、地域で暮らし続けることができるよう、認知症施策を総合的かつ計画的に推進していきます。



創政会
高橋 至



計画的に公立保育園を民営化し
保育の質の向上を目指す

問 保育園民営化の状況について伺いたい。
答 日長保育園を移転民営化して、にじいろ保育園旭が令和7年4月に開園しました。保育運営に関しては、市、保護者、事業者による三者協議会を計10回開催しました。現在の在籍児童数は127人で、保護者からの要望に適宜対応するなど、適切な保育運営が行われています。

寺本保育園は移転民営化後、9年4月に開園予定で、建設工事が始まっています。三者協議会を計4回開催し、また、園長候補者が寺本保育園の行事へ参加するなど園児がスムーズに移行できるよう準備を進めています。

佐布里保育園は民営化に向け、6月から事業者募集を開始し、12月までに事業者を選定、11年4月の開園を予定しています。

問 民営化後の保育の質の確保について伺いたい。

答 公立園と民間園の園長が出席する園長会を毎月開催し、意見交換や情報共有をしています。また、指導主事、指導保育士が各園を巡回し、環境整備や保育教育の質の向上のための指導を行っているほか、市主催の保育者研修への参加を呼びかけ、共に学ぶ機会を提供しています。

問 少子化を見据えた定員調整について伺いたい。

答 本市では、就学前児童数の減少が予測されているため、地域ごとの保育ニーズを踏まえ、民営化や公立園の建替えの際に、適正規模での運営ができるよう定員調整を行っていきます。



公明党議員団
泉 清 秀



学校でのいじめ防止対策には
早期発見と組織的な対応が重要

問 学校におけるいじめ防止対策について伺いたい。

答 本市では、いじめは、誰もが被害者にも加害者にもなり得る危険性があり、日常生活の延長上で、容易に生じるものといじめ防止基本方針で定めています。いじめの未然防止に努めるとともに、子どもたちの小さな変化に気づくことによる早期発見と学校における組織的な対応が重要であると考えています。

問 いじめの態様の傾向について伺いたい。

答 最も多いのは、冷やかしの、からかいなど、2番目は、軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり蹴られたりする行為、3番目は、小学校では物を隠されたり、壊されたりする行為、中学校では仲間外れや集団による無視となっています。また、中学校では、パソコンや携帯電話などで、誹謗中傷などをされるケースがやや増加傾向にありましたが、近年では件数、割合とも低下傾向に転じています。

問 いじめの未然防止に向けた取組について伺いたい。

答 人権教育として、道徳の授業を中心に、いじめの防止、差別や偏見をなくすことの大切さについて、発達段階に応じて指導を行っています。

また、ネットリテラシー教育として、全小中学校で情報モラル教育などを行っているほか、学校によっては、知多警察署などと連携して、警察官によるSNSなどの安全な使い方についての講座を行っています。今後も、子どもたちが身近で切実な問題として感じられるよう、小中高生が巻き込まれた事例などを紹介しながら、SNSを含めインターネットの適切な利用方法を学ぶ機会をつくっていきます。



市民クラブ
藤 井 貴 範



市内の知多刈谷線整備事業は
平面部から工事が進む

問 都市計画道路知多刈谷線整備事業について伺いたい。

答 用地取得は令和元年度から進められており、8年3月末時点における本市での用地取得率は、面積ベースで9割強です。現在の整備区間は、池下調整池南側の丁字路交差点から東浦町地内の緒川植山交差点までのうち本市内の約800mです。周囲の市道などと平面的に接続する平面部で、5年度から工事が進められています。

問 今後の予定について伺いたい。

答 用地取得の交渉を進めるとともに、平面部の用地を確保できた箇所において、順次、整地や雨水排水施設の築造などを進めます。開通時期の見通しは、様々な要因が影響するため、現時点では具体的な時期は未定です。



工事案内看板
(池下調整池南側の丁字路交差点)

異が丘投票区で臨時バスを運行
家族連れには投票記念証を配付

問 投票率向上に向けた取組について伺いたい。

答 令和7年度は、異が丘投票区の移動が困難な方を支援するため、投票日当日に臨時バスの運行を実施しました。

また、子どもたちに早い段階から選挙への興味を持ってもらうことを目的に、家族連れで投票に来た子どもに家族連れ投票記念証を配付しました。



創政会
石 濱 隼 人



新庁舎開庁を契機に
市役所組織の見直しを検討

問 市役所組織の見直しについて伺いたい。

答 正確さだけではなく、スピード感も求められる時代において、市役所の業務内容は、デジタル化への対応や、南海トラフ地震など大規模災害の対応力の向上も待ったなしの状況です。

こうした時代の変化に柔軟に対応できる組織づくりを進める一方、職員が働きやすい、働きがいのある組織であることも、非常に重要です。令和9年の新庁舎開庁は、新しい市役所の存り方を構築する大きな契機であり、市役所の組織の見直しを行っていきたく考えています。

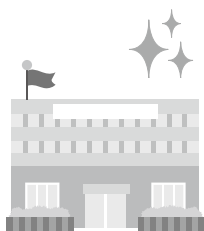
新庁舎令和9年5月開庁に向け
建設工事は予定どおり進行中

問 新庁舎整備の見直しについて伺いたい。

答 新庁舎の建設工事は、内装・外構工事などを経て、令和9年3月に完成する計画です。

また、建設費の高騰への対応としては、設計段階からコスト管理を徹底しており、市負担の軽減に努めています。

移転に際しては、5月の開庁に向け、4月に新庁舎でのオペレーションを確認する開庁シミュレーション期間を設け、市民サービスに影響が出ないよう万全な準備をします。



一般質問



たいわみらい
深谷 珠江



ベティさんの家旭公園などでは
公園内で剪定枝などを利活用

問 ベティさんの家旭公園、佐布里緑と花のふれあい公園及びメディアス公園七曲の剪定枝、伐採木及び伐採竹の処分方法及び利活用について伺いたい。

答 公園内で発生した剪定枝、伐採木及び伐採竹については、廃棄処分は行っておらず、各公園で利活用しています。大きめの枝や丸太については、随時希望者に配布しています。また、そのままの形状では活用できない剪定枝などは、チップ加工をした上で園内の樹木の根元にまき、雑草の繁茂を防ぐとともに、土壌改良のために利用しています。

県などの関係機関と連携し
有機農業参入希望者などを支援

問 就農者の現状及び有機農業への今後の取組について伺いたい。

答 2020年農林業センサスでは、本市の総農家数は1103戸、うち販売農家数は387戸となっており、5年前の調査より総農家数で113戸、販売農家数で92戸減少し、担い手の減少や高齢化が課題となっています。新規就農者は、直近5年間で合計9人で、そのうち、有機農業として就農された方は合計2人です。県では、有機農業推進計画を策定し、地域の実情などに配慮しつつ、有機農業者や関係機関などの協力を得て、栽培技術の開発・普及、有機農業者の定着支援、推進体制の整備などに力を入れています。本市としても、県知多農林水産事務所などの関係機関と緊密に連携し、有機農業の参入希望者や従事者に対し、農地のあっせんや各種補助金の申請支援を行っています。



市民クラブ
中山 貴弘



部活動地域展開導入後の調査
地域連携協議会において検討

問 平日の中学校部活動の入部率について伺いたい。

答 令和7年度の入部率は86.6%です。

問 地域クラブ活動への参加状況について伺いたい。

答 ジュニア及び一般のスポーツ、文化団体に750人を超える生徒が在籍しています。

問 生徒・保護者・学校それぞれの意識や課題を把握するための調査を実施する考えについて伺いたい。

答 地域展開の導入後の状況を把握するため、今後調査を実施する予定で、方法や内容などは、知多市部活動地域移行・地域連携協議会において検討していきます。

問 補助金制度の実績について伺いたい。

答 令和7年度は対象となる64団体のうち申請及び交付決定とともに39団体です。また、交付額の合計は160万円です。

問 経済的に困窮する家庭への支援について伺いたい。

答 家庭の経済状況が生徒の体験格差につながらないよう、支援措置を講じる必要があることから、他自治体の事例などを参考にしながら、検討していきます。



創政会
高橋 直之



朝倉駅の北街区に
暮らしを楽しむ憩いの場を実現

問 朝倉駅周辺整備事業における北街区の整備方針に係るサウディング調査について伺いたい。

答 暮らしを楽しむ緑園都市の憩いの場を実現するには、民間事業者との連携を深める取組が重要です。

問 令和8年度は整備方針に基づき、民間活力を生かした施設の整備を図るためサウディング調査を実施し、土地の活用や施設のコンセプト・設計・施工・運営など具体的な意見を収集し検討を進めます。

問 今後の進め方について伺いたい。

答 北街区の事業化検討は、商業機能を中心とした拠点形成を図っていく観点から、可能な限り民間事業者の参入意欲が高まる手法を実現することが重要です。

問 地域の特性や市場性を踏まえた提案や事業手法を把握した上で、最適な事業手法や公共と民間の役割分担などを判断し、令和9年度中に事業者の募集要項を公表できるよう準備を進めます。

問 大草公園は文化財としても適切に保護し後世に継承すべき

答 大草公園の環境整備・維持管理について伺いたい。

問 学芸員の指導に基づき、令和6年度に樹木の伐採などの整備を行いました。具体的には、二の丸中心部、やぐら台周辺をはじめとした高木、中木を伐採することで、土塁の状況を観察できるよう整備し、やぐら台から伊勢湾側を望む眺望を確保しました。

問 今後の位置付けについて伺いたい。

答 地域の公園として利用しながら、文化財として適切に保護し、後世に継承すべきものと考えています。

問 本市の貴重な観光資源として位置付けていきます。

答 本市の貴重な観光資源として位置付けていきます。



新緑知多
川脇 裕之



コミュニティセンター改修工事
つつじが丘で秋祭り以降に着手

問 つつじが丘コミュニティセンターにおける大規模改修の工事スケジュールについて伺いたい。

答 当初は8月の夏祭り終了後に現場着手を予定していましたが、コミュニティからの相談を受けて工事工程を再検討し、秋祭り以降の現場着手に見直しています。

つつじが丘ふれあい通りなど
8・9年度に照明灯をLED化

問 つつじが丘ふれあい通りの状態確認及び遊歩道の照明灯のLED化に向けた取組について伺いたい。

答 つつじが丘ふれあい通りの状態確認については、照明灯やベンチなどの遊歩道上に設置してある管理構造物は、2・3か月に一度、職員が主に目視による点検を行い、管理を依頼している協定団体や地域の方から不具合などの連絡があった場合には、早急に調査を行い、修繕などの対応をしています。また、遊歩道のLED化については、令和8年度中に佐布里パークロードの照明灯、9年度中に、つつじが丘ふれあい通りの照明灯をLED化する予定です。



つつじが丘ふれあい通りの照明灯



松風会
富田 一太郎



貴重な観光資源の一つとして
大草城址の活用を図る

問 大草城址の観光資源としての活用について本市の取組と今後の推進に向けた考えを伺いたい。

答 大草城址は、本丸・二の丸と周囲の土塁・堀の大部分がほぼ完全な形で残っている県内でも希少な城跡です。本市としては、パンフレットを活用し周知に努めるほか、知多市観光協会などにおいて、大草城御城印を販売し、観光客の誘致を図っています。令和5年度には、遺構の現況を把握するための調査を行い、市史跡の指定に向けて取組を進めています。周辺自治体と連携した取組については、知多半島の自治体・観光協会・商工会議所及び商工会で構成する知多半島観光圏協議会により、広域での観光・魅力発信をしています。協議会が作成している知多半島観光ガイドでは、大河ドラマゆかりの地の一つとして、知多半島にある緒川城址、坂部城址、大野城址と併せて大草城址を掲載しています。また、各種イベントへの出展などを共同で行い、PRしています。

今後の推進に向けた考えについては、近隣の歴史的な観光資源と組み合わせた周遊プランの作成、来訪者が飲食や買い物を楽しむことができるお店の紹介など、誘客のためのコンテンツの充実を図っていきます。こうした取組を通じて、観光ビジョンでいう「住んでよし 訪れてよし 商ってよし」の三方よしの観光によるまちづくりを推進していきます。

＝ 議会を傍聴してみませんか ＝

8月・9月の議会開催日程（予定）

- 8月14日（金） 議会運営委員会
広報広聴委員会
- 8月28日（金） 第4回定例会本会議（開会・議案上程）
- 8月31日（月） 本会議（一般質問）
- 9月1日（火） 本会議（一般質問）
- 9月2日（水） 本会議（議案審議・決算認定議案上程・委員会付託）
- 9月3日（木） 福祉文教委員会
- 9月4日（金） 建設経済委員会
- 9月7日（月） 総務委員会
- 9月9日（水） 決算審査特別委員会
- 9月10日（木） 決算審査特別委員会
- 9月11日（金） 決算審査特別委員会
- 9月16日（水） 議会運営委員会
広報広聴委員会
- 9月18日（金） 本会議（委員長報告・討論・採決・閉会）
全員協議会

※ 各常任委員会の開催日程は、8月14日頃に決定します。時間は、いずれも午前9時30分からを予定していますが、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

また、手話通訳または要約筆記を希望される方は、事前に事務局までお申し込みください。

なお、市役所庁舎1階ロビーにおいて、本会議の様子をモニターでライブ中継します。

※ 広報広聴委員会については、10月に2回の開催を予定しています。

（詳しくは、知多市ホームページ内の市議会のページをご覧ください。）

電話 0562-36-2685（直通）
FAX 0562-33-8299

総務委員会

視察日 5月19日～20日

視察先・視察内容

◆福岡県筑後市

「HAWKSベースボールパーク筑後の誘致について」

筑後市では、平成25年の福岡ソフトバンクホークスのファーム施設公募に対し、迅速な対応と議会との協力、また近隣7市町（筑後七国）での連携を行い、誘致を実現した。プロ野球のファーム本拠地が立地することは、ブランド力や経済効果のみならず、青少年育成、地域活性化、さらには市民にとって、市への誇りと愛着にも貢献することが、今回の視察においても確認することができ、単なる球団施設にとどまらない地域資源となり得る絶大なポテンシャルを持っていると感じた。

一方、球場と最寄り駅の周辺には、商業施設が少なく、経済効果を波及させることが課題となっていた。

本市が誘致を検討する場合には、誘致による効果を丁寧に整理し、オール知多市となる気運を醸成することや迅速な対応ができるかが分かれ目になると思われる。

◆山口県宇部・山陽小野田消防組合

「救急医療情報システムについて」

今回視察した救急医療情報システムは、救急隊と医療機関の情報共有の円滑化及び正確性向上に高い効果があり、救急隊員の負担軽減と医療開始時間の迅速化が果たされる優れたシステムであった。患者の救命

率向上・後遺症軽減や、出勤時間の短縮にまで効果が及ぶことが期待される。

医療機関側の協力も不可欠であるが、この組合では27もの医療機関との連携が取れていることも参考になる。医療機関側の負担が少なく、有効なツールとしての認識を持たれていることも推察できる。

一方で、電子端末及び通信に依存したシステムであることから、不能に陥った場合にも救急体制が確保できる訓練も継続しなければならぬと考える。

本市としても、救急出動件数が増加傾向である中、周辺自治体及び医療機関との連携を図りながら、早期に救急医療情報システムの導入ができるよう調査研究を積極的に進めていくことが求められる。救急医療情報システムを導入した際には、継続的に実践的な研修・訓練を実施し、より質の高い救急医療体制を構築していくことが必要であり、非常に参考になる視察となった。



筑後市での視察の様子

福祉文教委員会

視察日 5月11日～12日

視察先・視察内容

◆東京都昭島市

「アキシマエンスについて」

アキシマエンスは、「つながる・広がる・見つける・育む」をコンセプトとした複合施設で、小学校の跡地が活用されている。特に印象的だったのは、かつての校庭に新設された国際交流教養文化棟で、郷土資料室とICTを活用した図書館を備え、図書館には多様な学習・閲覧スペースや子ども

の一時預かりサービスなどが整備され、学生や子育て世代を意識した工夫が充実していた。その結果、貸出登録者数は、約2万人から約5万4000人へと増加し、市民に親しまれる施設となっている。

本市においても、朝倉駅周辺整備事業の一環で、北街区に図書と交流をテーマとした施設の整備が検討されている。今回の視察を通じて、ターゲットを明確にして、その世代のニーズに応える空間づくりやサービスの充実させることが、にぎわいづくりの創出につながると実感した。今後市民ニーズを丁寧に把握し、多くの人に利用される魅力ある施設づくりに生かしていくことが重要であると感じた。

◆東京都国立市

「新給食センター整備事業について」

国立市の新給食センター「くにたち食育推進・給食ステーション」は、1日約5000食を調理し、市内の小中学校11校へ給

食を提供している。

この施設では、衛生管理と食育の推進が重視されており、衛生面ではHACCPに基づく食材搬入から配送までのワンウェイ動線、ドライシステム、空調管理などにより高い衛生水準が維持されていた。食育面では、施設の2階に見学通路や試食可能な会議室を備え、児童生徒の学習機会を広げている。施設運営に関しては、PFI手法により民間のノウハウを活用し、効率的な運営と財政負担の平準化が実現されている。また、今後は災害対応力の強化や地場産物の活用拡大、幅広い世代への食育推進を進めていく方針とのことであった。

今回の視察を通じて、今後の本市の給食センターの建替えに当たり、本市が分析すべきは、整備運営の手法と、コンセプトをいかに明確に打ち出すかにあると感じた。基本計画や方針について、どのような点を意識したらよいか重要な示唆が得られた大変有意義な視察であった。



昭島市での視察の様子

間違い探し答え①看板「梅の館」②空「なにもなし」③鳥「羽」
③花壇のひまわり「なし」④梅の木⑤松の木⑤ベンチ「子ども」⑥「猫」

建設経済委員会

視察日 5月13日～14日

視察先・視察内容

◆茨城県ひたちなか市

「佐和駅周辺地区整備事業について」

佐和駅周辺地区整備事業は、駅の橋上化、東西自由通路、駅前広場、アクセス道路、駐輪場、区画整理などを一体的に進めることで、鉄道により分断されていた東西市街地の接続を改善し、交通結節機能の強化、安全性の向上、駅周辺の利便性向上を図った事業である。

今回の視察を通じて特に印象的だったことは、行政が成果指標として渋滞長、踏切横断交通量、アクセス時間など、市民生活の体感に近い数値を用いていた点である。単なる整備量ではなく、生活がどう変化したかを意識した事業評価が行われていることは参考になると感じた。

本市においても、朝倉駅周辺整備事業をはじめ巽ヶ丘駅、新舞子駅などの鉄道駅周辺、さらには西知多道路整備に伴う地域拠点形成において、交通便利性の向上にとどまらず、定住促進、にぎわい創出、民間投資誘導へとつながる整備の在り方を検討していく必要がある。

◆静岡県島田市

「賑わい交流拠点施設「KADODE OIGAWA」について」

「KADODE OIGAWA」は、新東名高速道路の島田金谷IC周辺に位置し、大井川流域の玄関口として、農業振興、



島田市での視察の様子

観光振興、地域交流、広域からの集客を目的として、島田市、JA大井川、大井川鐵道株式会社、中日本高速道路株式会社の官民4者の連携により整備された施設である。単なる物販施設や道の駅ではなく、地域資源を体験に変え、人の滞在と購買を生み出す体験型コンテンツを打ち出している。一例として、地域資源であるお茶を販売するだけでなく、緑茶B・I・Yスタンドでは、来場者が自分でお茶をいれ、味わい、楽しむことで、島田市らしさを体感できる仕掛けとなっていた。

一方で、年間100万人規模の来場者があり、観光バスも多数訪れているにもかかわらず、黒字化まではあと一歩とのことは持続可能な事業設計が不可欠であり、大きな可能性と同時に、慎重に検討すべき課題を示してくれる事例でもあった。施設を整備すること自体を目的とするのではなく、「誰が、何を目的に訪れ、どのように過ごし、どのように地域経済や市民生活に波及していくのか」という視点を持つ必要性を改めて感じた。

建設経済委員会 委員紹介

建設経済委員会委員を紹介します。

写真前列右から、竹内祥浩、高橋直之、後列右から、泉 清秀、川脇裕之、石濱隼人、中山貴弘です。

よろしく願います。

委員会の所管は、環境経済部、都市整備部、農業委員会の所管に属する事項です。

次号では、議会運営委員会委員を紹介します。



副委員長

委員長

チャレンジ!

2枚の絵には違うところが5つあります。探してみてください。

まちがいさがし



※答えは9ページに掲載しています。